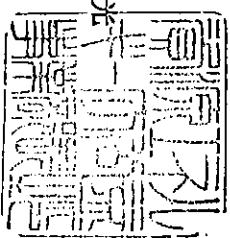


5 資公部第 115 号
平成 5 年 3 月 9 日

社団法人日本瓦斯協会
会 長 渡 辺 宏 殿

資源エネルギー庁公益事業部長 荒井

寿光



ガス事業法第 19 条第 1 項第 3 号ただし書の規定による
承認の基準について

上記の件について、別紙写しのとおり定め、その旨を各道商産業局長（中部通
商産業局公益事業北陸支局長及び沖繩開発庁沖繩総合事務局長を含む。）あて通
達しましたので、通知します。
なお、貴協会会員に対する周知及び指導方よろしくお願いいたします。

ガス事業法施行規則第19条第1項第3号ただし書の規定による承認の基準

1. 申請に係る原料ガスの種類及びガス発生設備の種類が次の表に掲げる場合、若しくは次の表に掲げるものの組み合わせに該当する場合（空気により希釈する場合を含む）

原料ガスの種類	ガス発生設備の種類
液化天然ガス	液化天然ガス発生設備
天然ガス	天然ガス井、購入ガス
液化石油ガス	液化石油ガス発生設備

(1)承認の基準

原料ガスの組成、若しくは原料ガスを組み合わせる場合は、原料ガス各々の組成とその混合比率から燃焼速度（MCP）を計算した結果が申請者に係る供給規程に記載されている燃焼速度の範囲にあること。

(2)承認申請に際しての提出書類

(イ)燃焼速度に関する承認申請書（記載例1参照）

(ロ)添付書類

- ① 原料ガス組成
- ② 運輸管理方法
- ③ 供給ガス燃焼性計算書
- ④ 供給ガス燃焼性計算値プロット図

2. 申請に係るガス発生設備の種類が前項の表に掲げるもの以外の場合（空気により希釈する場合、若しくは前項の表に掲げるガス発生設備とそれ以外のガス発生設備との組み合わせに該当する場合を含む）

(1) 承認の基準

ガス発生設備毎に、その運転管理において、燃焼速度が最大及び最小となる製造ガスの組成、ガス発生設備の組み合わせ及び供給ガスの熱量・ウオツペ指数（W I）の管理値から燃焼速度の範囲を計算し、その結果が申請者に係る供給規程に記載されている範囲にあること。

(2) 承認申請に際しての提出書類

(イ) 燃焼速度に関する承認申請書（記載例 2 参照）

(ロ) 添付書類

- ① 製造ガス組成及びガス発生設備の運転方法の範囲
- ② 運転管理方法
- ③ 供給ガス燃焼性計算書
- ④ 供給ガス燃焼性計算値プロット図

燃焼性に関する承認申請書

第 号
年 月 日

通 商 産 業 大 臣

殿

住 所

氏 名 (名称及び代表者の氏名) ㊟

ガス事業法施行規則第19条第1項第3号のただし書の規定により、燃焼速度が一定

範囲にあるとして承認を受けたいので申請します。

ガス発生設備の運転方法、供給ガスの燃焼性範囲

燃焼性の測定に係る事業所の名称及び所在地		
供給ガスの種類		
供給規程	標準熱量	
燃焼性の範囲	WI MCP	
ガス発生設備の種類		
ガス発生設備の型式		
原料の種類		
スチームの範囲		
空気原料の範囲		
操作温度を測定する代表箇所		
操作温度の範囲		
一酸化炭素変成率の範囲		
増熱原料		
製造ガスの組み合わせ範囲		
空気混合の有無		
供給ガスの燃焼速度計算値(MCP)		

燃焼速度に関する承認申請書記載要領

1. 供給ガスの種類の項は、表1に基づき記載し、燃焼性の範囲の項は、供給規程の範囲を記載すること。
2. ガス発生設備の種類及びガス発生設備の型式の項は、表2に基づき記載すること。
3. ガス発生設備の種類、ガス発生設備の型式及びガス発生設備の運転方法の項は、ガス発生設備の種類、型式の異なることに記載すること。
4. ガス発生設備の型式の項で、油ガス発生設備の場合は、最高使用圧力の区分(高压、中圧、低圧の別)を記入すること。
5. 原料の種類及び増熱原料の項は、次の例によること。
液化石油ガス(プロパンまたはブタン)、液化天然ガス、天然ガス、ナフサ、石炭、メタノール、購入ガス(〇〇系)、及びこれらの組み合わせ
6. スチーム/原料の範囲及び空気/原料の範囲の項は、それぞれ改質用原料単位量当たりの水蒸気量及び空気量を記載すること。ただし、増熱用に使用される原料は、比率の算出には含まない。
単位は、原則として [g]、[kg]、[m^3] とし、単位を明記すること。
(ガス化反応を伴わない種類のガス発生設備にあつては、この項は記載する必要なし)
7. 製造ガスの組み合わせ範囲の項は、種類又は型式の異なる設備を有する場合のみ記載すること。
8. 空気混合の有無の項は、供給ガスの熱量調整での空気混合の有無を記入すること。
9. 供給ガスの燃焼速度計算値の項は、JIS Z 8401により、小数点以下1けたに丸めて表示し、ウオツベ指数(WI)は、10の位に丸めて表示すること。

表 1 供給ガスの種類及び燃焼性の範囲

ガスグループ		ウォットピ指数 (W I)		燃焼速度 (MCP)	
用品検定	供給ガス	最小値	最大値	最小値	最大値
1 3 A	1 3 A	12,600	13,800	35	47
1 2 A	1 2 A	11,750	12,850	34	47
6 A	6 A	5,860	6,740	34	45
5 C	5 C	5,110	5,890	42	68
L 1		5,670	6,900	42.5	78
	7 C	6,140	6,900	47	78
	6 B	5,950	6,850	42.5	62
L 2	6 C	5,670	6,530	42.5	71
		4,550	5,400	29	54
	5 A	4,700	5,400	32	52.5
L 3	5 B	4,650	5,350	36	54
	5 AN	4,550	4,970	29	43
		3,860	4,440	35	64
L 3	4 A	3,860	4,280	35	51
	4 B	3,860	4,330	37	62
	4 C	3,950	4,440	40	64

表 2 ガス発生設備の種類と型式

ガス発生設備の種類	ガス発生設備の型式	備 考
液化天然ガス発生設備	液化天然ガス気化器	
天然ガス井	天然ガス井	自家生産に限る
液化石油ガス発生設備	液化石油ガス気化器	
油ガス発生設備 (天然ガス、液化石油 ガス、購入ガス等を 原料とするものを含 む)	サイクリック式 部分燃焼式 外熱連続式 自熱式	
石炭ガス発生設備	コークス炉	
購入ガス	天然ガス系 石炭系 石油系 () その他 ()	() 内は先方設備を記入する

ガス発生設備の運転方法、供給ガスの燃焼性範囲 (記載例1)

燃焼性の判定に係る事業所の名称及び所在地		○ ○ 事業所 ○○県○○市・・・	
供給ガスの種類		5AN	
供給規程	標準熱量	4,600kcal/Nm ³	
	燃焼性の範囲	WI MCP	4,550 ~ 4,970 29 ~ 43
ガス発生設備の種類		天然ガス井	液化石油ガス発生設備
ガス発生設備の型式		天然ガス井①	液化石油ガス気化器②
ガス発生設備の運転方法	原料の種類	天然ガス	液化石油ガス(プロパン)
	スチームの範囲	—	—
	空気原料の範囲	—	—
	操業温度を測定する代表箇所	—	—
	操業温度の範囲	—	—
	一酸化炭素変成率の範囲	—	—
	増熱原料	—	—
製造ガスの組み合わせ範囲		①のガス1に対して②のガスを0.1~0.2混合する。	
空気混合の有無		有	
供給ガスの燃焼速度計算値(MCP)		29.9 ~ 37.4	

ガス発生設備の運転方法、供給ガスの燃焼性範囲

(記載例2)

燃焼性の判定に係る事業所の名称及び所在地		〇〇事業所 〇〇県〇〇市・・・	
供給ガスの種類		6C	
供給規格	標準熱量	5,000kcal/Nm ³	
	燃焼性の範囲	W I MCP	5,670～6,530 42.5～71
ガス発生設備の種類		油ガス発生設備	油ガス発生設備
ガス発生設備の型式		サリカ式(低圧)①	部分燃焼式(低圧)②
ガス発生設備の運転方法	原料の種類	液化石油ガス(ブク)	液化石油ガス(ブク)
		スチームの範囲	0.8～1.1 kg/ℓ
	空気原料の範囲	—	1.5～1.8 Nm ³ /ℓ
	燃焼温度を測定する代表箇所	燃焼層最下部	燃焼層最上部
	燃焼温度の範囲	700～800 ℃	720～780 ℃
一酸化炭素変成率の範囲	50～80 %	50～80 %	
増熱原料	液化石油ガス(ブク)	液化石油ガス(ブク)	—
製造ガスの組み合わせ範囲			
①のガスIに対して、②のガス0～0.3を組み合わせる。 ③のガスは増熱用として、希釈空気とともにW Iの範囲内で混合する。			
空気混合の有無		有	
供給ガスの燃焼速度計算値(MCP)		44.5 ～ 66.7	